

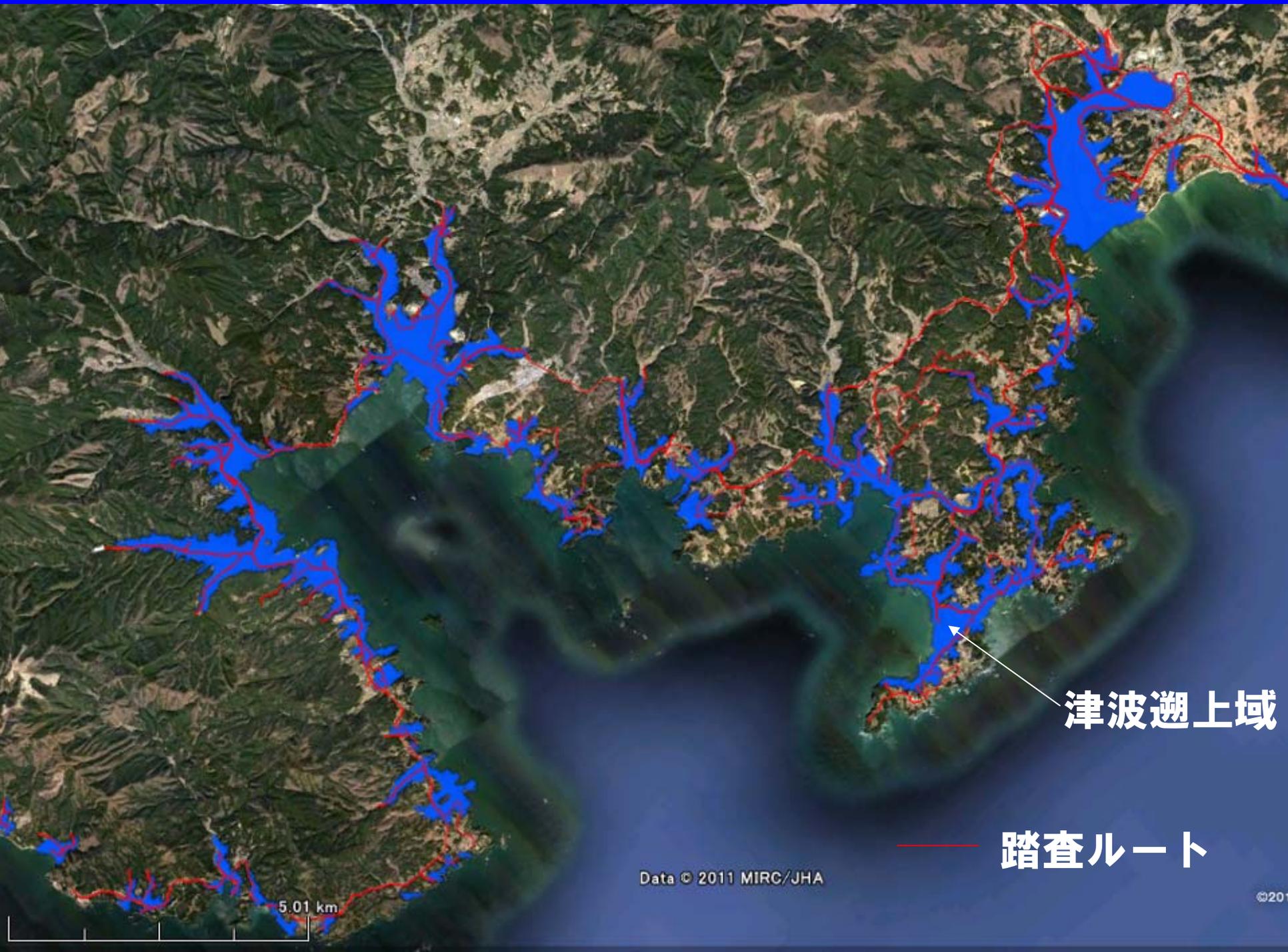
# 福島県沿岸域における津波の実態

## 東北～関東までの全域浸水現地調査

- 調査は津波による浸水範囲を特定することを主眼として実施し、あわせて津波による被害状況を確認した。
- 現地調査は原口が担当し、漂流物や流水痕跡などから浸水・遡上限界地点を確認・認定し、その位置をパソコン上の詳細地形図上でプロットしながら浸水位置をマッピングした。被災地の多くの地点で瓦礫撤去作業や災害復旧工事が行われて立入りが時間制限されたため、こうした地区の調査は早朝に行なった。
- 現地の調査結果(電子データ)は毎日インターネット経由で岩松に送り、海岸線データを組みわせて浸水範囲のポリゴンを作成した。
- それらのデータは電子国土, google earth, google mapなどで閲覧可能なファイルに変換されたのち、情報地質学会の以下のサイトから情報発信を行なった。  
<http://www.jsgi-map.org/tsunami/>

原口 強 (大阪市立大学)  
岩松 暉 (鹿児島大学名誉教授)





津波遡上域

踏査ルート

Data © 2011 MIRC/JHA

5.01 km

©2011

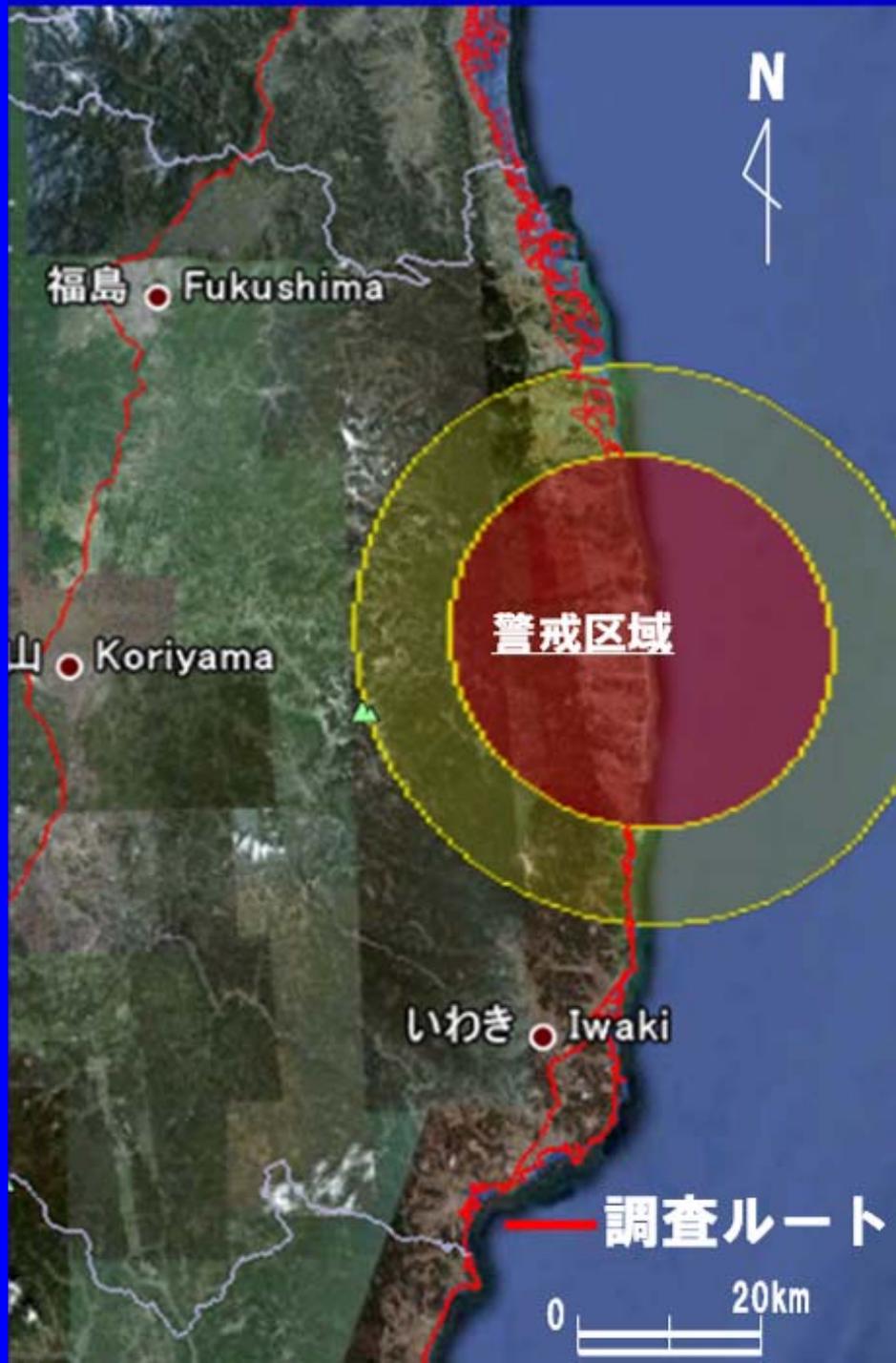
## (1) 人的被害

区分	報数	市町村名	被害数 (人)
死者	171	福島市	3
	116	郡山市	1
	135	須賀川市	10
	105	田村市	1
	61	白河市	12
	83	西郷村	3
	27	会津若松市	1
	244	相馬市	443
	244	南相馬市	580
	39	広野町	2
	187	榎葉町	11
	242	富岡町	16
	248	大熊町	63
	178	双葉町	26
	248	浪江町	109
	119	葛尾村	4
	207	新地町	95
	75	飯舘村	1
	243	いわき市	307
計			1,688

平成23年6月24日(金) 8時00分現在  
福島県災害対策本部資料

## 福島県

行方不明者	135	須賀川市	1	長沼字北町地区
	244	相馬市	16	
	244	南相馬市	109	
	39	広野町	1	
	149	榎葉町	2	
	230	富岡町	9	
	248	大熊町	2	
	178	双葉町	9	
	248	浪江町	74	棚塩(平場)、請戸中
	41	葛尾村	1	
	246	新地町	16	
	245	いわき市	42	
	計			282



福島県沿岸域は、2011年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震津波によって、海岸沿いの広い範囲で津波による浸水被害を受けた。

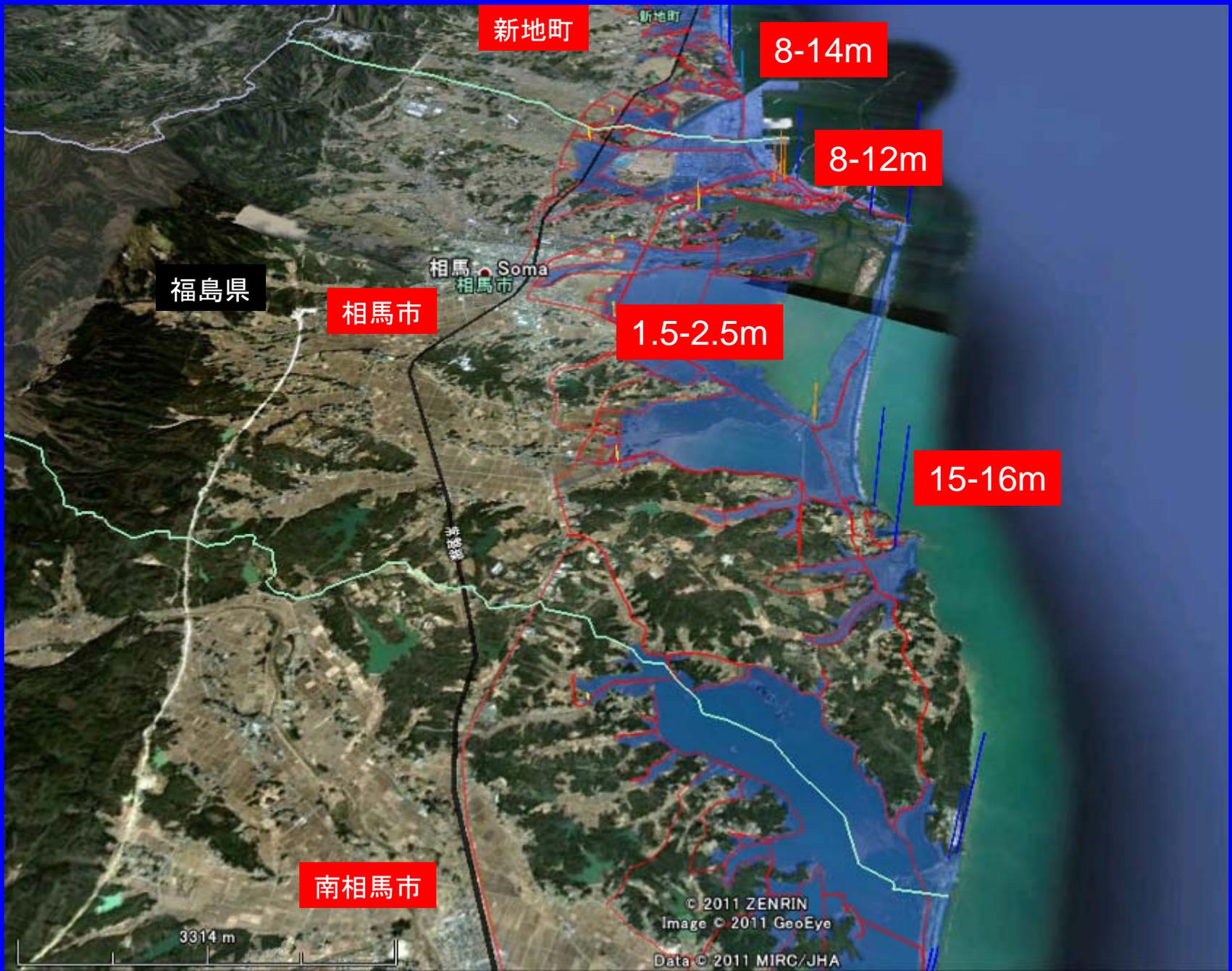
さらに福島第一原子力発電所事故に伴い、海岸線の約4割が警戒区域とされた

福島第一原子力発電所事故に伴う警戒区域を除く福島県沿岸域における津波の実態について、2011年5月27～29日、6月9～11日に実施した現地調査結果を報告する。

今後、被災直後に撮影された空中写真や衛星写真を判読し、立入が困難な警戒区域部分の津波浸水状況の推定作業を行う予定である。







相馬市

東側から峠を越えて津波は松川浦に達す

494 m

© 2011 ZENRIN  
© 2011 Geocentre Consulting

Data © 2011 MIRC/JHA

©2010 Google



相馬市

相馬 Soma  
相馬市

福島県

南相馬市

南相馬 Minamisoma  
南相馬市

4.34 km

© 2011 ZENRIN  
Image © 2011 GeoEye

Data © 2011 MIRC/JHA



相馬市

相馬 Soma  
相馬市

福島県

南相馬市

南相馬 Minamisoma  
南相馬市

半径30kmライン

半径20kmライン

© 2011 ZENRIN  
Image © 2011 GeoEye

Data © 2011 MIRC/JHA

©2010 Google

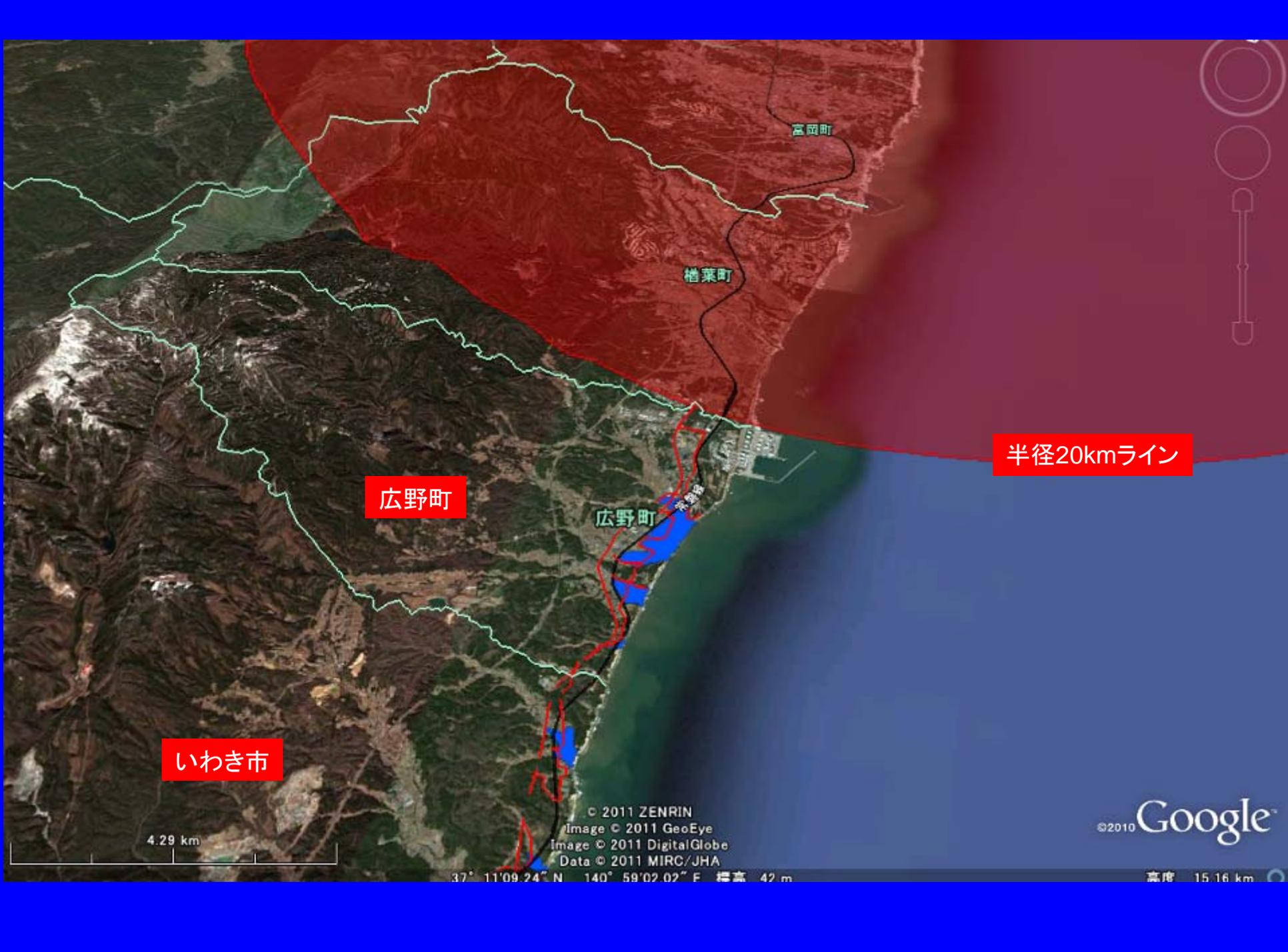




立入禁止

立入禁止

南相馬市



広野町

いわき市

半径20kmライン

広野町

宮園町

楢葉町

4.29 km

© 2011 ZENRIN  
Image © 2011 GeoEye  
Image © 2011 DigitalGlobe  
Data © 2011 MIRC/JHA

©2010 Google

37° 11'09.24" N 140° 59'02.02" E 標高 42 m

高度 15.16 km



山形県道 100 号

山形県道 100 号

立入禁止

危険  
立入厳禁

33



広野町

広野駅(福島)

7-9m

国道線

657 m

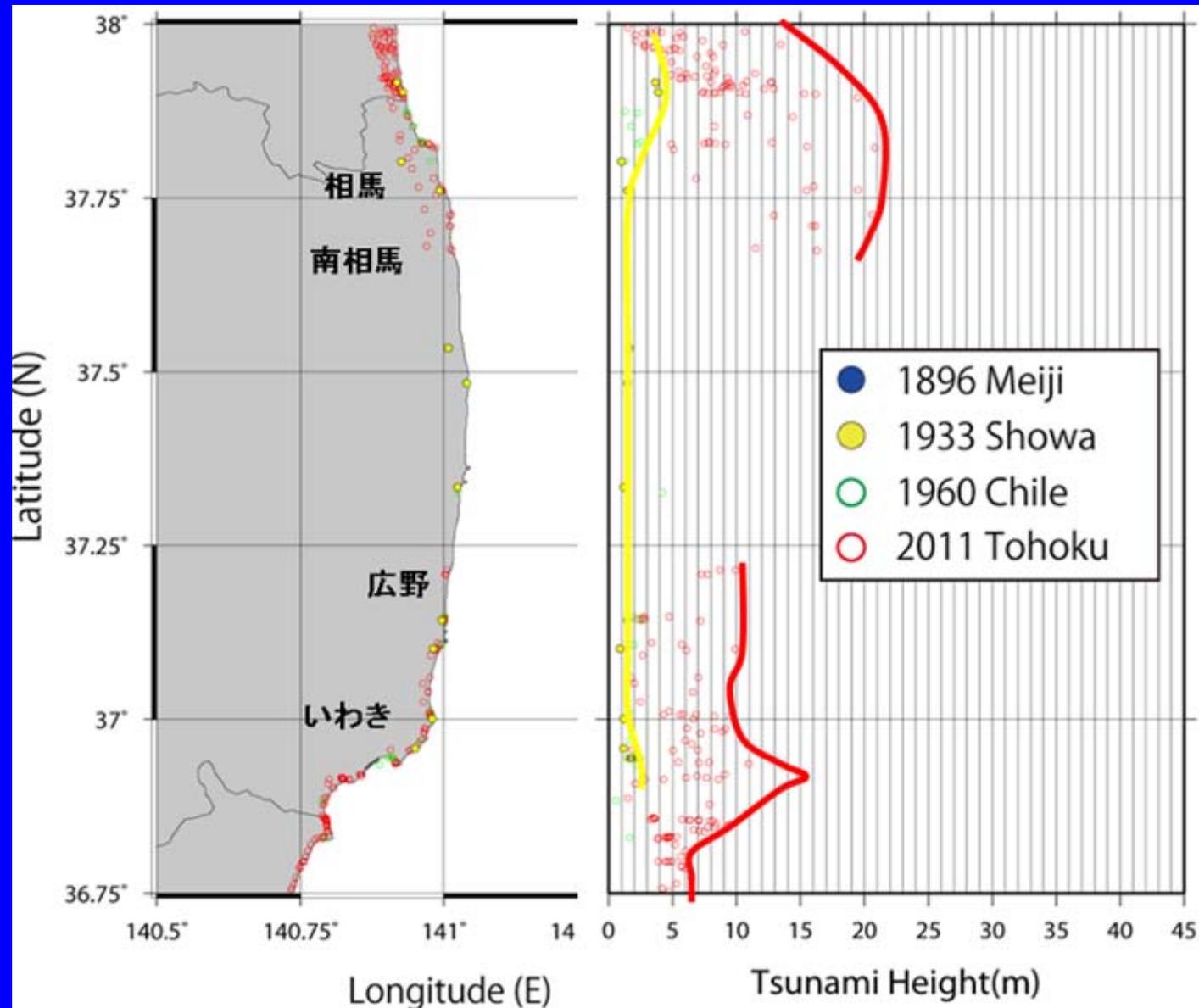
© 2011 ZENRIN  
Image © 2011 GeoEye  
Image © 2011 DigitalGlobe  
© 2011 Geocentre Consulting

©2010 Google

37° 10' 44.00" N, 140° 50' 53.50" E 標高 10

高度 0.51





東北地方太平洋沖地震津波合同調査グループでまとめられた福島県データ(左図で見ると、これまで知られていた過去の津波高さを大きく上回る津波が沿岸域を襲ったことが確認される。すなわち、これまで観測されていた津波はいずれも最大5m以下、殆ど3m程度であった。今回観測されたものは10-15mに達し、北部ほど高いことが読み取れる。

# 現地調査地図帳の出版と被災地への無償配布計画

## 『東日本大震災 津波地図』

A4版、見開き(A3)での地図帳形式で約350ページ、2万5千分の1の地形図に津波の浸水範囲がはいります。主な写真も該当ページに配置予定です。

背景)

被災地ではいまだにネット環境の回復が遅れています。

出版するこの紙ベースの地図帳はいつでも自由に使えます。

地域全体を浸水範囲とともに概観でき、被災地の実態を理解に役立ちます。

「津波がどこまで来たのか？」それぞれの地域を理解する基礎資料となります。

さらに、当面のハザードマップとなります。

短期的には被災地調査、復興計画調査で使われますが、

長期的には今回の各家庭に1冊保管しておいてほしいと考えています。

このような背景から

被災地域の避難所や仮設住宅の方々に無償で配布できないかと考えています。

# 謝辞

- 本研究には、東北大学運営交付金(特別)—東北太平洋沿岸における緊急津波実態調査—(代表:今村文彦教授)の研究費を使用させていただきました。
- 本年度はサバティカルを4月より大学より頂いており、この結果、現地調査に専念することができました。